

一般社団法人大阪府ペストコントロール協会  
令和2年（2020年度）事業報告概要  
自 令和2年1月1日  
至 令和2年12月31日

本年度は、1月より新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振るっており、当協会も別動隊を設置し消毒に当たっていますが、依然収束する気配がありません。冬季からは西日本を中心に鳥インフルエンザの発生、現在は日本全国で多数確認されており、各地のPCO関係者が奔走している状況です。また、「令和2年7月豪雨」により各地ともに甚大な被害に見舞われました。この災害により被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

今後も、有事の際はこれまで培ってきた環境衛生に関する防除技術・知識を活かし、各行政機関・関係団体と連携し、災害復興に役立つ活動に取り組んで参ります。

府民からの害虫相談事業につきましては、1月1日～12月31日までに府民より寄せられた通常の相談件数は3,352件と10年間の平均より50件程減となりました。

本年度はコロナウイルス消毒関連のご相談も同窓口で受付けており、それらを含めると合計3,698件となります。（11月まで分321件、12月より一般相談として加算分25件の計346件）

イタチはこの5年程で急増していますが昨年よりは20件程少ない339件、ネズミは314件でした。トコジラミは163件で、昨年より30件減少。コウモリは10年平均では96件ですが、2018年頃から200件近くご相談が寄せられるようになり、本年は213件でした。TV番組の影響と思われる。

シロアリは年々減少しており、10年平均110件に対し本年度は98件でした。ハチ類は全体的に減少、特に7月中の相談件数が例年より150件程少なく、12月末では10年平均より325件程少ない1,425件でした。

行政からの委託事業につきましては、毎年受託していた各地感染症媒介蚊のサーベイランス業務がコロナ禍の影響で中止となりました。その他ハチ駆除業務、アライグマの運搬業務は例年通り受託いたしました。件数としてはハチ関連業務210件、アライグマ関連業務529件（うちアライグマ運搬数281頭）。

9月には、感染症対応出動隊研修会を行いました。前年までの枚方市との感染症媒介蚊採取と同定業務委託契約の内容に基づき、8分間人囮法による媒介蚊採取と同定方法について研修並びに実地演習を行いました。

また、厚生労働省から登録を受けた防除作業監督者講習会、防除作業従事者研修会は、一部を除き感染症拡大防止のため自宅学習での開催を行いました。

以上